

1年生の投稿が宮崎日日新聞

『窓』に掲載されました!!

つながり大切
出会いに実感

看護学生
大山 純平 18
私は最近、人とのつながりの大切さをよく感じる。今年で私は19歳を迎える。今まで多くの人と出会いってきた。楽しい思い出の中にいる人やつらくて苦しい壁を共に乗り越えてきた

人、時には自分にとつてあまり良い思い出がない人だつていた。

最近までは、楽しいことやつらいことを共にし始めた人が自分の経験や成長につながっていて、逆に良い思い出がない人からは経験を得られない、成長できない、そう思っていた。

しかし、そうではないと気付いた。全ての出会い



いが自分を成長させてくれる。私には「考え方」があり、他の人にもその人の「考え方」がある。「そういう考え方もあるのか」と受け入れて自分自身と異なるものを否定するのではなく、新しいものと考へ、全てが自分につながっているとポジティブにもつていくことが大切。今まで出会った人、共に過ごしている人、全ての人とのつながりを大切に。（都城市）

これからもたくさん家族に助けられながら、生きていくこうと思う。そして、私も家族を助けていきたい。（都城市）

離れていても家族のパワー

看護学生
石本 蓮華 19
私の家族はとてもぎやかだ。昔から夜ご飯を食べていて、学校や部活動で悩んだり、嫌なことがあると自然に相談できがある。そんな雰囲気をもつて、私はどんな困難にぶつかるか、ち、大丈夫だよと言わんばかりに寄り添ってくれる母、不器用ながらも私のことを励ますとしてくれる父、私の悩み事なん

談するとき、否定せず、必ず味方になってくれ安心するからだ。自分と同じ立場になり、私はどんな困難にぶつかるか、ち、大丈夫だよと言わんばかりに寄り添ってくれる母、不器用ながらも私のことを励ますとしてくれる父、私の悩み事なん

現年、1人暮らしをしている時々寂しくなることがある。そんな時、私は家族のグループLINEで話をすると、いつものなんでもない話が繰り広げられ、私の寂しい気持ちはすぐになくなる。

この人たちがいる限り、私はどんな困難にぶつかっても必ず乗り越えられると思つている。